

# 力強い弁慶



③弁慶松の近くに、弁慶の産湯の水をくんだ井戸があると伝えられています。

今は、水は入っていませんが、昔はそこに水があったようです。

井戸の中をのぞいてみると、暗くて落ち葉がたくさん落ちていました。井戸の周りには木がたくさんありました。昭和 35 年まで田辺第一小学校校内にありましたが、平成元年田辺市役所に復元されました。



## 弁慶の特徴

弁慶は、あばれもので体が大きくて強かったそうです。

生まれた場所は、田辺といわれています。子どもの頃に比叡山にあるお寺にあずけられ、そこのお寺を焼いたといわれています。でも、弁慶が実在した人物であったかどうかは、わかりません。

## ゆかりの品

①八坂神社には「弁慶腰掛の石」があり、弁慶がその石に座り、石に大きなへこみができたといわれています。

(左写真上から2つ目)

②弁慶が生まれた時使った「産湯の釜」と言われており、大福院にあったものが、明治の初めに闘鶏神社に移されました。有名なエピソードは、弁慶と義経の出会いや、勧進帳です。

(左写真上から3つ目)



## 《弁慶松》

第六代目の松は、今市役所で大きく丈夫に育っています。三代目の弁慶松は、藩主安藤氏が、江戸時代に闘鶏神社の裏山から移植したもので、高さ 15m 周囲 4m の巨木となっていました、昭和 50 年に枯れました。

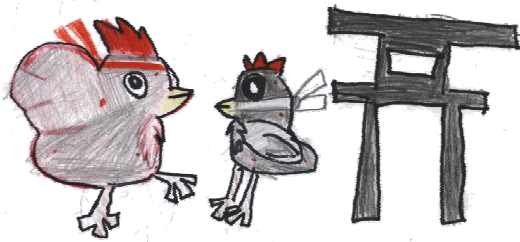
で、高さ 15m 周囲 4m の巨木となっていました、昭和 50 年に枯れました。





## 歴史ある闘鶏神社

## 名前の由来



元々は、熊野三山の別宮的な存在です。  
源平の戦いの時、弁慶のお父さんが赤と白の鶏(にわとり)を戦わせ、白が勝ったので、源氏に味方をするを決めたことから、この名前がつけました。

## 弁慶に関わる品々



弁慶のお父さんが、かぶっていたという鉄の帽子。なぜ鉄でできているかというと、弁慶のお父さんは海で悪い事をした人を成敗しつつ、神社の宮司を勤めていました。海では、やりや、矢が飛んでくるときに、頭を守るためにつけていた、といわれています。



弁慶が生まれたときに使ったお風呂が、闘鶏神社に「産湯の釜」として、展示されています。産湯の釜は、赤ちゃんが使うお風呂のようなもので、「鉄」で作られています。

## 闘鶏神社の神々



生まれた時から歯もかみの毛もはえていた弁慶が使ったお風呂なので**貴重な物**です。

闘鶏神社は、国生みの神様として知られているイザナミノミコトを始め、この世を照らし、すべてを活かす太陽の神様などが祭られています。また、神社には「勝運」、「開運」に縁起が良いといわれている神様も祭られています。

**みなさんもぜひお立ち寄り下さい！！**

# 南方熊楠

その足跡を訪ねて



【南方熊楠】



## 粘菌(ねんきん)

近年、多くの人に  
関心をもたれている  
粘菌です。

別名、変形菌とも  
呼ばれ、キノコのよ  
うな形をしています。形を変えたり、動いたり  
します。虹色のように見えるものなど、色々な  
粘菌があって、見ていて不思議になってくるの  
でみなさん、ぜひ見に来てください。

## どんなことをしたの？

熊楠は1867(慶応3)年4月15日に和歌  
山県和歌山市橋丁の南方弥兵衛・スミの次男  
として生まれ、1941(昭和16)年に75歳で亡  
くなりました。

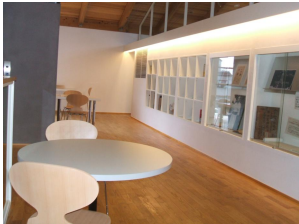
その間にアメリカ・キューバ・イギリスと、  
あわせて約14年も住んでいたそうです。子  
どものころには「神童」と呼ばれ、新種の粘菌  
を発見したり、イギリスの雑誌「ネイチャー」  
にも論文をのせたりしました。そのほか中国  
の革命家「孫文」と出会ったり、天皇と進献  
したりもしました。

## 愛用品

これは熊楠が粘菌  
を発見したときに大  
切にしまっておいた、  
標本箱です。色々な種  
類の箱が使われてい  
て、個性的です。



## 南方熊楠顕彰館・南方邸・墓地



### 顕彰館

1階には、玄関  
ホール・展示スペ  
ース・休憩コーナ  
ー・学習室・収蔵  
庫・管理室があり、  
2階には交流・閲

覧(えつらん)室・休憩コーナー・研究・作業  
室・資料管理室・パソコン室があります。

1階の収蔵庫には、熊楠が使用していた、  
雑誌・書簡・標本等の資料が合計約2万5千  
点収められています。学習室では、約80人  
入ることができ、講演会や学習会、各種会議、  
特別展等に使用します。また、可動壁(かど  
うへき)により2室に分けられます。

2階の研究・作業室では、熊楠や粘菌につ  
いての学習、研究ができます。顕彰館は、無  
料で使用できます。外部は、ガラスばりでも  
きれいなのでぜひ行ってみてください。



### 南方邸

熊楠は1904年  
に田辺に移り住  
みました。南方邸  
は、約400坪の屋  
敷で、母屋は、8  
畳・6畳、2階2  
部屋で、母屋から  
少し離れたところ

ろに書斎があり、隣に蔵がありました。土蔵  
には、貴重な資料がたくさんありました。庭  
は植物研究所で、広さは変わっていません  
が、植物は変わりました。でも、柿の木は、  
今も残っています。南方邸は、大人300円、  
高校生200円、小中学生100円になってい  
ます。ゆっくりまわると、1時間から1時間  
半ぐらいかかるそうです。

### 墓地

これは、南方熊楠の墓です。墓の横には札の  
ようなものが立って  
いました。墓は、高山寺に



あるので、  
ぜひ一度、  
行ってみて  
ください。

# さあ 探検・冒険してみよら！



ひき岩群の周辺には、岩口池や動鳴気峡(どうめききょう)があります。その周りには、森が広がっています。探検すると、とても楽しいです。探検するには、ふるさと自然公園センターの休憩場所の近くの階段を降り、そこを右に曲がって、まっすぐ行きます。短い階段を降りると、森に入れます。とても高い所を通るターザンロープ・よじ登れる岩・ハラハラするような森の道・どれもこれもとても楽しいです。これであなたもりっぱな探検家！

## ひき岩は形がすごい



## 天を仰ぐヒキガエル

ひき岩を見上げると、何かの形に見えませんか。そう、カエルです。ひき岩は、天を仰ぐヒキガエルの形をしています。それで、ひき岩と呼ばれています。

皆さんの町に、こんな岩はありますか？ なかったら田辺市のふるさと自然公園センターへどうぞ。一番のおすすめのポイントを教えてください。ひき岩がみたいなら「ふるさと自然公園センター」に来てください！

ひき岩は、カエルの形をしているので、カエルでひき岩を表現してみました。このカエルみたいな岩なので、ぜひみなさん見に来てください！

## あなたも見て、体験しませんか？

ひき岩群は、天気の良い晴れの日に見ると最高の風景です。雨の日には、霧でりんかくがかすみ、シークレットのようでおもしろいです。

また、ひき岩群は、ハイキングコースにもなっていて、思わず大声をあげてしまいそうです。一人でなくても、みんなで行っても、ちがったおもしろさがあります。ストレス気味な人も、とっても楽しい人も、みんな行ってみてください。

お茶とお弁当と、ハンカチを持って行ってみてください。お弁当を食べる時、風景を見ながら食べると、お弁当も倍おいしくなります。きれいな空気を吸うと、気持ちが楽になり、心がいっぱいになりますよ。

ひき岩群にある「ふるさと自然公園センター」には、田辺市やその他の町の自然の資料が、たくさん展示してあります。時間を忘れられるほど、興味を持てます。



# 合気道の植芝盛平



みなさんは、「合気道」というのを知っていますか。合気道は田辺市の出身の「植芝盛平」という人が、生み出した武道です。植芝盛平は1883年（明治16年）に田辺市元町で生まれました。

子どものころは、決して武道家になるような体質ではありませんでした。どちらかと言えば、体が弱くて病気になりやすい体質で神経質な少年だったようです。

植芝盛平は18歳の時、東京に出て、「合気道」を始めるきっかけとなる柔術や剣道を学びました。

その後、北海道や京都府に移り住み、農業をしながら心身を鍛えるという考えのもと、苦勞をしながらも修行に励みました。

1942年茨城県に移り住んだ盛平は「合気武道」から、「合気道」と名前を改め、その発展と世界中に広めるところに努めました。

1964年4月26日、86歳で亡くなりましたが、現在、「合気道」は世界中の国に広がり150万人以上の人々に愛好されています。

みなさんも、田辺に来たときには植芝さんのゆかりの場所を訪ねてみてください。



合気道で有名な植芝盛平さんの墓は高山寺にあります。少しはなれていますが、粘菌（ねんきん）の研究で、世界的に有名な南方熊楠の墓も高山寺にあります。時間があれば、2人の墓を探して2人にお線香、花、水などをあげてください。よろしくお願いします。



南方熊楠（左）と植芝盛平（右）

歴史ある

# 高山寺



南方熊楠と仲のよかった「喜多幅」さんの墓です。

熊楠の墓の前にあります。今でも仲良くしているのですね。

高山寺は、西暦 600 年代初めに、牟婁の長者が建てました。長者は、ある年、京の都に出て、聖徳太子の人格に深く感動し、心を動かされたのです。

聖徳太子の命令を受けて、ためてあった財産を持って、長い年月をかけ、立派な御堂を南面山に建立し、そして観修学問寺と名づけました。高山寺と名を改めたのは、さらに後の世のことなのです。

今の高山寺が建てられている場所は、小高い山で、海からも少し離れていますが、今から 8000 年前(縄文時代)は、すぐそばが海で、当時の人が住んでいた跡の「貝塚」も見つかっています。



## 多宝塔

高山寺は、私たちの学校の近くにあります、よく遊びに行ったりします。(放課後や、休みの日) 多宝塔は古い建物で図工の時間に絵を描きに行ったりします。

## 多宝塔(写真②)

高山寺には、多宝塔という二重屋根の高塔があり、真言宗寺院の根本的な中心となる建造物があります。

多宝塔の他に、御影堂・本堂・鎮守堂があります。

## 貝塚(写真①、④)

高山寺貝塚は、厚手の押型文土器を主として発見される貝塚として全国的に有名です。貝塚とは、昔の人が食べた後のゴミ捨て場です。

## 南方と植芝の墓(写真③)

高山寺には、世界的に有名な、南方熊楠と植芝盛平の墓があります。

南方熊楠…世界的な植物学民俗学者  
(1867～1941)

植芝盛平…合気道創始者  
(1883～1969)